

## 2021年度 取締役会実効性評価に関する結果の概要について

2022年6月24日

日本KFCホールディングス株式会社

当社は、持続的な成長と企業価値向上のために、取締役会の実効性を評価・分析し、課題を認識し改善を図る目的で、毎年少なくとも1回、取締役会の実効性評価を実施しております。

今般、2021年度の実効性評価（2021年4月1日から2022年3月31日までに開催された取締役会）について、以下のとおり評価を行いましたので、その結果の概要を報告いたします。

### 1. 評価のプロセス

評価にあたっては、全取締役（社外取締役、取締役監査等委員を含む8名）を対象として、アンケート調査を行い、その回答結果を踏まえて、外部弁護士による各取締役の個別インタビューを実施いたしました。

2022年5月18日開催の実効性評価において、同弁護士よりアンケート及び個別インタビューの分析結果に関する報告を受けたうえで、取締役会の実効性について議論を行い、その評価と今後の対応を確認いたしました。

〈主要な設問テーマ〉

- 取締役会の構成等に関する事項
  - 人数及び構成について
- 取締役会の具体的審議方法に関する事項
  - 事前準備の具体的内容
  - 取締役会における具体的な審議の状況・内容
- 個別議案の内容に関する事項・諮問委員会（報酬、指名）
  - 指名諮問委員会、報酬諮問委員会の具体的運用状況
  - 中期経営計画に関する審議状況
  - 重要な経営課題・事業上の重大リスク
  - コンプライアンス、内部統制
- その他（SDGs、ESG、サステナビリティに関する審議状況）

## 2. 評価結果の概要

評価を実施した外部弁護士からは、当社取締役会の構成、開催頻度、上程議案の選定、審議状況等は適切であり、当社取締役会の意思決定機能、監督機能は効果的かつ適切に機能しており実効性は確保されている旨の報告を受けております。この報告内容を前提として、取締役会にて議論した結果、当社の取締役会の実効性は確保されているとの結論に至りました。

## 3. 今後の取り組み

今年度の取締役会実効性評価を踏まえ、外部弁護士より、現状で十分な実効性は確保されているものの、長期的には以下の課題も協議することが望ましいとの指摘がありました。今後の取締役会の運営で鋭意対応してまいります。

- ◆ 2021年6月改訂のコーポレートガバナンス・コードを踏まえ、SDGs及びESG並びにサステナビリティについて取締役会での議論の活性化。
- ◆ 中期経営計画の進捗状況確認について社外取締役による知見や他社事例を参考にした議論の活性化。
- ◆ コンプライアンスや内部統制、リスク管理体制の整備・運用状況に関して個別の事案ごとの十分な議論。

以上